

学生のための大学図書館へ！



—コロナ禍による大学図書館利用者激減に対する長崎大学附属図書館の改善の試み—

長崎大学附属図書館（中央図書館） 一瀬 瞳

2021年度－2022年度 行動目標一覧

大目標	中目標	小目標	達成度	2025年度も継続中
利用者ファースト	きめ細やかな学生のニーズ調査を実施する	Twitterの投票機能を用いてピンポイントなアンケート調査を月1回実施する。	◎	●
		図書館サービスに関するWebアンケートを実施して、300人以上の回答を得る。	◎	●
		オンライン選書会を年1回開催する。	○	●
	コロナ禍にも対応した学生向けサービスの向上をはかる	学生懇談会を年1回開催する。	◎	●
		電子ブックのタイトルを拡充し、電子ブックの利用回数を前年度比5%UPさせる。	○	●
		オンライン学生相談、オンラインレファレンスの窓口を開設する。	○	●
		動画コンテンツを5本公開する。	◎	●
		全職員が1日1回案内係として館内を巡回する。	◎	●
		「プラネタリウムヘルスコナール」を設置する。	◎	●
		特定テーマでの学生リクエスト募集を年3回実施する。	◎	●
安全安心で快適な学習環境を整備する	貸出制限を見直し貸出の利便性を向上させ、貸出冊数を前年度比5%UPさせる。	△	●	
	図書館利用に応じた特典制度の導入を検討する。	◎	●	
	Web用個室を新設する。	◎	●	
	ゾーニングを見直す。	◎	●	
	設備を更新する。	◎	●	
	空席状況がわかる仕組みをつくる。	△	●	
効果的な図書館の情報発信	リアルタイムな情報をSNSで発信する	軽食販売の導入を検討する。	◎	●
		安全のための講習会、訓練（AEDや車いす、避難誘導など）を年1回実施する。	◎	●
		危機管理マニュアルを改訂する。	○	●
	ホームページや刊行物等を学生目線で作り替える	Twitterを1日1回投稿する。	◎	●
		Twitterのフォロワー数を650人→1000人に増やす。	◎	●
		ブログの更新回数を年40回→100回に増やす。	◎	●
		新規SNSの導入を検討する。	◎	●
		他大学の図書館ホームページ20件を比較する。	◎	●
		現在の各ページの要・不要を整理する。	◎	●
		デザインを統一したホームページにリニューアルする。	◎	●
図書館PRイベントの開催や他部署との広報連携を活発に行う	利用の多いページからレスポンス対応を進める。	◎	●	
	貴重資料電子化コレクションページの整理・充実を図る。	◎	●	
	ホームページの更新方法・チェックのルールを作成する。	○	●	
刊行物の見直しを行う。	◎	●		
館内掲示についての基準を作成する。	△	●		
デジタルサイネージの効果的な活用方法を検討する。	◎	●		
学生が楽しめるイベントを年1回開催する。	◎	●		
展示WGを立ち上げ、ギャラリー等で年3回の展示を行う。	◎	●		
学内広報（NU-web、長大メールなど）と連携を図り、効果的な広報を行う。	◎	●		

近年の取り組み（抜粋）



【利用者ファースト】ブックハンティング
 ・図書館に置いてほしい本を書店で直接選ぶイベント。例年実施しているが、2025年度は期間を短くして開催数を増やす予定（年3回→年4回）。学生からも「続けてほしい」との意見あり。



【利用者ファースト】e-roomリニューアルオープン
 ・教員・学生からの意見を参考に設備を更新した。可動式の机・椅子を設置、会話OKとして、様々な用途で活用できる空間とした。
 ・ネーミングライツを導入し、今後も図書館の教育研究環境の向上をはかる。



【効果的な情報発信】館内展示
 ・貸出数増加のために、展示を増やして定期的に更新している。テーマは、話題のものや利用者アンケート、学生からのリクエストを参考に決定している。画像は『流行本大賞2024』と題して、中央図書館貸出ランキング上位の本を集めた展示。

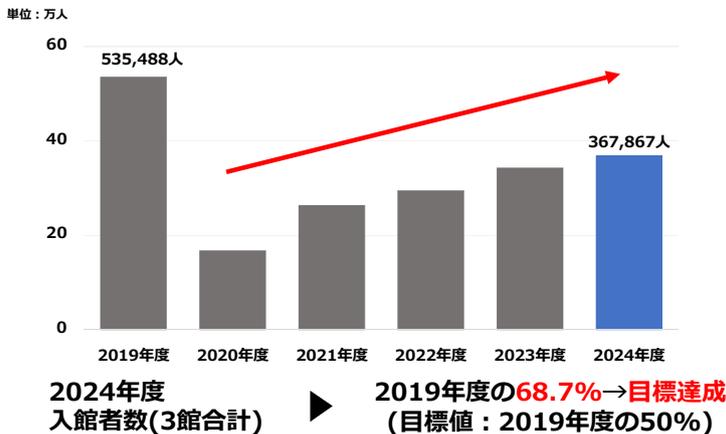


【効果的な情報発信】SNSのフォロワー数増加
 ・担当を決めて、定期的な投稿を継続中（X：1日1回以上、ブログ：週2～3回）。Instagram（2021年7月運用開始）はフォロワー数が1,000人を突破（2025年4月）。入学式後に館長が図書館ガイダンスを行い、図書館SNSをアピールしていることもフォロワー数増加につながっている。

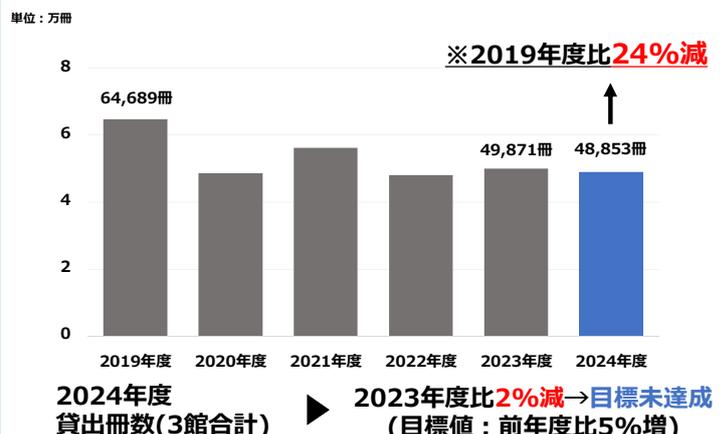


【その他】第110回全国図書館大会
 ・第2分科会の大学・短大・高専図書館が「学生のための大学図書館へ！～なんでも話そうチャンネル～ワークショップ～」というテーマで、中央図書館で開催された。参加者同士で活発な意見交換が行われた。

学生の入館者数(2019年－2024年)



学生の貸出冊数(2019年－2024年)



今後の課題

入館者数は増加しているが、貸出冊数が伸び悩んでいる。図書館に全く来ない学生（全体の7.6%）、本を1度も借りていない学生（全体の49.5%）に対しての働きかけをする必要がある。

※数値は2024年度